

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金												令和08年08月26日
計画の名称	氷見市における災害に強い安全・安心なまちづくりを図るアクセス道路整備											
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)									重点配分対象の該当		
交付対象	氷見市											
計画の目標	能越自動車や幹線道路と救急医療施設及び防災拠点施設を結ぶアクセス道路を整備することにより、両者間の移動時間の短縮、緊急輸送路の確保を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。 災害時、地元住民が安全に避難できるよう、国道415号から避難施設に指定されている小中学校へのアクセス道路や国道160号や幹線道路から子育て支援施設等宅地開発の進む地域へのアクセス道路を整備する。											
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2,655	A	2,655	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R05当初	R07末	R09末
1	能越自動車道や幹線道路と、救急医療施設及び防災拠点施設を結ぶアクセス道路等の整備率の向上を目指す。 アクセス道路整備率 （計画路線の整備済延長）／（計画路線延長：4.05km）×100	28%	60%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村 道	改築	（他）下久津呂深原線 下久津呂～深原	拡幅整備 L=1.05km	氷見市	■	■	■	■	■	262		-
	A01-002	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村 道	改築	（他）上庄中央線 泉～ 柿谷	バイパス整備 L=0.21km	氷見市	■	■	■	■	■	139		-
	A01-003	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村 道	改築	（他）沖布 5 号線 鞍川	拡幅整備 L=0.44km	氷見市	■					129		-
	A01-004	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村 道	改築	（ 1 ）環状南線 大浦～ 布施	バイパス整備 L=0.55km	氷見市	■	■	■	■	■	1,400		-
	A01-005	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村 道	改築	（他）中村上田線 中村	バイパス整備 L=0.31km	氷見市	■	■	■	■		154		-
	A01-006	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村 道	改築	（他）下稻積野線 栄町 ～加納	拡幅整備 L=0.68km	氷見市	■	■	■	■	■	303		-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-007	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村 道	改築	（他）沖布 5 号線（第 2 工区） 鞍川～泉	拡幅整備 L=0.7km	氷見市		■	■	■	■	215		-	
	A01-008	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村 道	改築	（他）湖光 1 号線 園～ 湖光	拡幅整備 L=0.15km	氷見市				■	■	53		-	
											小計							2,655		
											合計							2,655		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06	R07		
配分額 (a)	90	41	26		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	90	41	26		
前年度からの繰越額 (d)	56	73	25		
支払済額 (e)	73	89	33		
翌年度繰越額 (f)	73	25	18		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					